

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する、回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙 : 7件 (ただし、匿名等で回答していない市長への手紙は除く。)
 うち回答済みの件数 : 7件
 うち回答作成中の件数 : 0件
 ○対象とならなかった市長への手紙 : 47件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

■回答したもの (受付年月平成30年10月分)

対応状況凡例：○=手紙の内容に応じて対応済
 △=手紙の内容を検討中
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	手紙	どぶについて	島田市は緑がいっぱいあって素晴らしいのですが、どぶのせいで町中が臭かったです。なので、どぶを地下に埋めてほしいです。よろしくお願いします。	市では、どぶ（排水路）の悪臭をなくすため、一つ目に、家庭からの汚れた排水（生活排水）をどぶに出さないようにする。 二つ目に 汚い排水をスムーズに流すために、どぶの整備を行う。 三つ目に、どぶをいつもきれいな状態に保つ。 など、それぞれの部署において対応をしています。 まず、一つ目の家庭からの汚れた水をどぶに出さないようにするために、各家庭に浄化槽を取り付けていただいています。新しい浄化槽（合併処理浄化槽）は全ての汚れた水をきれいにできますが、古い浄化槽（単独浄化槽）の場合はトイレの水しかきれいにできず、台所やお風呂の水はそのままどぶに流れています。このことがどぶの悪臭の原因のひとつになっています。そのため、市役所では、合併処理浄化槽を新設や付替えする家庭に、一世帯あたり65万円を上限に補助金を出し、汚れた水を少なくするようにしています。また、島田駅周辺の一部の地域では、下水道管を地中に埋める工事を行っています。下水道管を埋めてある地域では、汚れた排水をどぶに流さず、下水道管に流すことができます。下水道管の汚れた水は、南町にある島田浄化センターでまとめて処理して、きれいな水にしてから大井川に流されます。 生活排水をスムーズに流すために排水路の整備を行っています。改修が必要な水路がたくさんあり、	○	下水道課 35-7720

				<p>地形のこと、費用のことなどの理由で全ての箇所を改修することは容易に実施できないのが現状です。地域の皆さんからの要望を聞きながら、緊急性や必要性の高い箇所から順次整備を行っています。</p> <p>また、どぶをいつもきれいな状態に保つために、地域の皆さんに協力をしていただき、環境美化活動(川ざらいなど)を実施しております。</p> <p>このように、市では皆さんの家の周りのどぶを少しでもきれいにして悪臭をなくすために色々な事業を行っています。多くの費用が掛るため全てを一度に行うことは難しいこと、また、地域の皆さんの御協力が必要であることを御理解いただきますようお願いいたします。</p>		
2	手紙	津波対策について	<p>津波対策に、県西部？の発砲スチロール？の救命胴衣を、特別養護老人施設にプレゼントしていただきたいです。その救命胴衣は破裂せず、腰から上が水面から出て、良いものだそうです。</p>	<p>はじめに、静岡県では、平成25年に報告された静岡県第4次地震被害想定において、津波被害が想定される市町を公表しておりますが、島田市については、津波被害はないと想定されております。</p> <p>この想定は、南海トラフ地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震や津波としております。様々なデータを基に想定しており、島田市は沿岸部から距離があることや地形などからも津波の心配はないと想定されております。</p> <p>今回〇〇様から御提案いただきました救命胴衣の特別養護老人施設へのプレゼントは、本来ハザードマップに基づく水害の危険性に応じて、施設管理者が準備すべきものであり、市が特別養護老人施設へ提供することは、馴染まないものと考えています。</p> <p>今年になり各地で台風等の影響による自然災害が多く発生し、さらに、今後高い確率で南海トラフ地震の発生が心配されている中、市民の皆様の「災害から命を守る」ことへの関心も高まっていることから、災害対策に有効な防災用品などがあった場合には、市で備蓄することの検討や、自主防災会などへ紹介してまいりたいと考えております。</p>	×	危機管理課 36-7143
3	メール	避難所の電化について	<p>昨今、日本各地で大地震が発生し被災者の避難状況が報道されます。島田市でも東海地震、東南海地震の発生が心配されます。いずれは大規模な地震が発生します。いざ発生すれば各避難所に避難するこ</p>	<p>現在、市内の第一次指定避難所においては、停電時の最低限の電源の確保のため、発電機を配備しております。また、発電機の燃料が不足した場合に備え、プロパンガスを燃料とした発電機の供給を受けられ</p>	×	危機管理課 36-7143

とになります。しかし、避難所は、電気は止まり夜は真っ暗中で余震が襲ってくる恐ろしい状況となります。また、乳幼児のミルクも温められず、体を拭いてあげることもできません。食事も緊急物資のおにぎり等が配給されますが、全て冷たい食事で長期化すれば体にいいことはありません。東北地震では冬季でありつらいものであったと思います。心配される大地震は、静岡県から四国までの広範囲に影響し電気の復旧は長期化すると考えられます。そこで、提案ですが島田第二中学校の西北にある山の頂上は、平らでお茶畑がありますが、後継者もなく荒廃が見られます。そこにソーラーパネルを設置すれば市街地に設置するよりも安価となり景観的にも問題はないとおもいます。

夜間は風力発電を活用して最低限の照明の電気は確保できると思います。電気があれば、照明、電化機器により暖かいミルク・食事・飲み物が提供でき避難所における精神的な苦痛から一部でも解放でき元気が出ると思います。最近、国道1号の旗指インター付近に民間のソーラ計画があり、災害時の協定を結べばより多くの電気を確保でき、島田二中の周辺にある避難場所に電気を供給出来るかもしれません。他の避難所での多くの発電は無理であるため、島田二中から暖かい食事の配送もできます。

(将来的には近所の田んぼを利用し防災センター、配送センター化し市内への配送も可能)。また、頂上からの見晴らしはよく発電館と芝生広場を作り市民に開放して地震時の安心を広報することも良いのではないのでしょうか。山の斜面は常緑樹林であるので遊歩道を作り発電施設と一体となった市民の憩いの場としても活用できると思います。予算が必要ですが用地費が安いうえ、各種の国、県の補助を賢く使えば島田市の持ち出しは少ないと思います。このような避難場所での電化は静岡県、いいえ日本中でもないと思います。是非、日本で最初の先進的な電化避難所を作り、被災者の最低限の避難所生活を守ってください。よろしく申し上げます。

るよう、事業者と災害協定を締結しております。

〇〇様から御提案いただきました、島田第二中学校北西の茶畑は民間の土地であり、また、島田第二中学校側の急傾斜地が土砂災害特別警戒区域となっており、開発などによる土砂災害リスクの増大は避ける必要があります。

また、市が発電施設や付随する様々な施設を造ることについての国や県の補助制度は、無いのが現状です。

したがいまして、御提案の地域にソーラーパネルや風力発電施設を設置し、避難所へ電力供給することは、現段階では極めて困難と考えております。

今年は、例年にも増して各地で台風などの影響による自然災害が多く発生し、今後は高い確率で南海トラフ地震の発生が心配されている中、市民の皆様への「備える」ことへの関心の高まりを感じております。

〇〇様のように、様々な視点で、災害に対する備えや避難所の運営を捉えていただくことは、大変ありがたいと、今後とも地域の防災力の向上に御尽力いただければ幸いです。

4	メール	千葉山 バス運行について	<p>初めまして。 千葉山は智満寺があり観光客も多いので、バスが運行していたら便利なのになと思います。 いろんな面で、バスの運行が開始されないか願っております。 お願いいたします。</p>	<p>千葉山につきましては、智満寺やハイキングで訪れる方はいらっしゃいますが、現在、バスの利用者は全国的に減少しており、島田市においても同様に年々減少しています。 また、運行事業者においても、燃料費の高騰による経費増や運転士不足などにより、運行路線から撤退をしているため、今までのようなバス運行を維持していくことは大変厳しい状況となっています。こうしたことから、コミュニティバスの路線や運行本数を増やす予定は今のところございません。 しかし、〇〇様の御指摘のとおり、移動が困難な皆様の交通手段を確保することは、当市におきましても重要な課題となっております。 今後におきましては、利用者の需要に応じて乗合運送を行なうデマンドタクシーの運行や、自治会やNPOなど地域の皆様が協働してワゴン車等による自主運行を行なうことで、地域の交通手段が確保できないか市としても検討を進めています。</p>	×	生活安心課 36-7144
5	メール	島田市大鉄事故現場周辺について	<p>昨日、大井川鐵道線で列車事故がありました。やっとニュース沙汰になりましたが、事故現場の近隣は以前から山は荒れ、倒木がそのままになっています。台風24号の倒木ももちろん放置されたままの現場もあります。事故現場の北側では小学生の通学路となっていますが、昨日なかった大木が今日は倒れているという話は日常茶飯事です。山の手入れ不足からか獣の出没もあり大変恐ろしい地域になっています。あの事故のあった山はとても危険な状態で、今まで大きな事故が起きない事は不思議なくらいです。速やかに現地周辺を歩き、御自分の目で確認して、安全・安心のできる地域にして頂きたいです。過疎地域だからと後回しされては困ります。 それぞれの山に持ち主がいるからと皆で耐え過ごしていますが、不安も限界です。早急に対応をお願いします。</p>	<p>〇〇様から御指摘をいただいた山の手入れについては、適正に森林を管理するには、間伐や主伐などの森林整備が必要となります。しかし、森林は、あくまでも個人の財産であるため、基本的には森林所有者が山の管理をしていただくこととなります。このため、当市では補助事業等により森林整備を推進しているところですが、現在、木材需要や木材価格の低迷から、森林所有者の意識も低くなり、森林管理が疎かになっている状況が見受けられます。 こうした中、平成31年度からは、国の施策で適正な森林管理を目的に森林環境譲与税が導入されます。今後は、この税を活用し、森林所有者の意向を確認する中で、意欲のある林業事業者へ管理を委ねる方法も検討されております。 また、道路が山林と隣接している箇所につきましては、倒木等により、通行が出来ない状態であるときは、道路管理者として通行できるよう対応し、通行に支障をきたす恐れがあるときは、改善するよう立木所有者に依頼していきます。 次に、有害鳥獣対策の件につきましては、現在、猟友会に委託し鳥獣を捕獲(昨年度捕獲実績約1,000</p>	○	農林課 36-7165 すぐやる課 36-7152

				<p>頭)するとともに、有害鳥獣防護柵等設置事業等を行っております。今後も継続して実施してまいります。新たな取組として、昨年度は狩猟者の確保を目的に、新規に狩猟免許を取得する方に対し申請手数料を補助する事業を開始いたしました。また、来年度からは鳥獣被害対策実施隊を設置し、パトロールや啓発活動等を行っていきたいと考えております。</p> <p>なお、鳥獣が出没しにくい環境をつくるのが、最も有効な対策です。放置された作物等が鳥獣の餌となり、住み着くケースが見受けられますので、餌となるものは放置しない、耕作放棄地を発生させないなど、自衛的な対策にもお心掛けいただくよう御協力をお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、山林の状況によっては、治山事業や急傾斜事業、地すべり事業などの事業により対応できる場合もあります。地域の皆様が不安に思っている危険箇所は、ぜひ自治会を通じて要望書を御提出いただきますようお願いいたします。</p>		
6	メール	紙ストローについて	<p>先日、静岡市が紙ストローのイベント事をやりました。(意識向上の為)</p> <p>島田市は、林業・製紙業が存在しますが、地元の企業を巻き込んでエコやゴミ減量を絡めた、産業育成(紙製品製造)はしませんか?</p>	<p>御提案いただいたエコやゴミ減量を絡めた紙製品製造の産業育成につきましては、使い捨てプラスチックの削減を目的としたプラスチックストローから紙ストローに代える取組により、紙製品の需要が伸びていますように、今後もエコやゴミ減量に関することをきっかけとして、新たな紙製品製造の需要が増えてくると考えられます。</p> <p>島田市では、地球全体の問題である地球温暖化への対策を地域から進めるため、国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」に賛同し、平成29年4月11日に「島田市COOL CHOICE宣言」を行いました。これにより市は、市民一人ひとりが自覚し、環境への負荷の少ない社会の構築を目指して行動する「大井川が育む みどり豊かな自然と共生する資源循環型のまち しまだ」の実現に向けて、率先して取り組むこととしております。</p> <p>その観点から考えますと、産業面においても、地球温暖化対策や林業、製紙業という地域の特長を生かした紙製品製造の産業育成に取り組むというのは一つの方法であると考えておりますが、これに対応していくためには、行政だけでなく、企業の皆様も一緒</p>	○	商工課 36-7164

				<p>に産業育成に取り組むことが重要になりますので、社会や経済情勢に注視しながら、紙製品製造や販売をされている市内企業の皆様の御要望を伺いながら支援してまいります。</p> <p>市としましては、御提案いただいた紙製品製造も含め、地域産業の活性化に向けて積極的に取り組んでまいりますので、何とぞ御理解、御支援をいただきますようお願いいたします。</p>		
7	メール	ラジオ出演について	<p>K-Mix ラジオ出演について『思い出の交差点知ってますか』に静岡市長と島田市長が出ていますが、何か市のトップ政治家が出ることは意味深いと思います。何か政治に安心感を国民に植え付ける気がしてなりません。というのは現実には何かと国会政治で行政が曲げられ政治不信を抱かざるを得ません。身近なことには税金があらゆる分野の税金アップは異常なほどです。国民のほとんどが政治に無関心でそれどころではない仕事に追い掛け回されています。そうしないと生活できないほど苦しい時代にさせられていますから。ですからこれをさらに助長させ、市民をさらに政治に無関心鈍感な無知人間の増加になるでしょう。行政のアピール活動の一つとお考えかもしれませんが、はっきり言って市民のマインドコントロール的な市長の行動は慎むべきです。市長自身が気付いていないと思いますが、苦言、直ぐにも安易なラジオ出演はやめるべきです。</p>	<p>K-Mix ラジオCMにつきましては、TOKAIグループが「全力静岡応援団！」を合言葉に静岡県を中心に活動するアーティストを応援し、静岡から全国へ発信することで地域のプロモーション活動に取り組んでいるものです。</p> <p>県内の自治体と連携して地域を盛り上げるため、県内35市町を歌詞に盛り込んだ楽曲「思い出の交差点」を制作し、地域のイベントに積極的に参加していただいております。島田市においてもこの趣旨に賛同し、TOKAIグループと連携してCMに出演したものです。</p> <p>〇〇様から御意見をいただきました政治的な意図はございませんので、何とぞ御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>今後も島田市の情報発信に努めてまいりますので、御協力を賜りますようお願いいたします。</p>	○	<p>広報情報課 36-7355</p>